

リーチ式フォークリフトで使えるタイヤとは？

リーチ式フォークリフトでは、**ドライブタイヤ・キャスタータイヤ・ロードタイヤ**の 3 つのタイヤを交換する必要があります。

右の図のように取り付ける場所によって異なりますので、交換の際はどのタイヤが必要かご確認ください。



リーチ式フォークリフトのタイヤの材質としては、主に 2 種類あります。



- ・ゴム製…
低コストで滑りにくく、グリップ力に優れている
 - ・ウレタン製…
長寿命で、路面のタイヤ痕が目立ちにくい
- という特徴があります。

弊社ではリーチ式フォークリフト用タイヤの交換を承っており、車両や材質、地域により変動しますが例えばトヨタ 1t 系 (6F・7F) ウレタンタイヤの場合

ドライブタイヤ 330×145×194	… 51,480 円
キャスタータイヤ 150×80	… 13,728 円

にて承っております。(ベアリング別)

ぜひお気軽にご相談ください。

また、弊社ではリーチ式のほか、座って乗るタイプのフォークリフトのタイヤ交換も承っております。



座って乗るタイプのリフトで使うタイヤとは？

立ち乗りタイプのリーチと異なり、座って乗るタイプのフォークリフトは「**カウンターバランス式**」と呼ばれます。

カウンターバランス式では前輪・後輪ともに同じ種類のタイヤを使いますが、サイズは前輪のほうが大きめです。



弊社のノーパンクタイヤ「アドバンス」は黒色に加えて、**カラータイヤ**も取り扱っております。

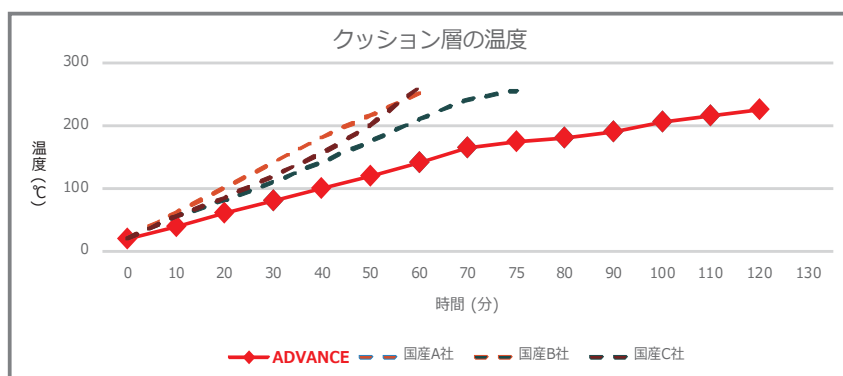
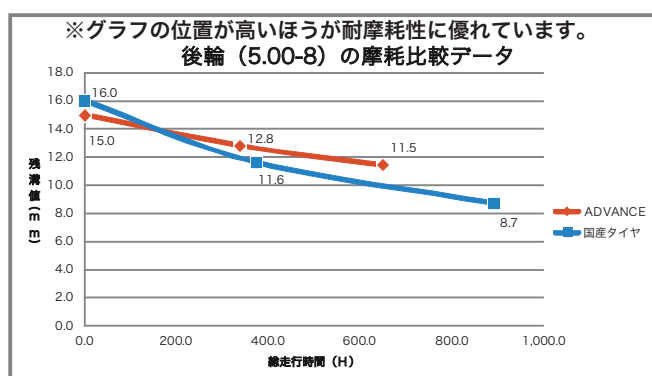
カラータイヤなら地面にタイヤ痕が残りにくいいため、見た目がきれいになり掃除をする手間も省けます。



カウンターバランス式のリフトは屋外でも使用することがありますので、雨天などでも滑りにくいよう、グリップ力が高いタイヤを選ぶことも重要です。

弊社のタイヤ「アドバンス」は、独自のゴム配合や設計によってすり減りに強くなっており、**グリップ力を維持できる寿命が長く**なっています。

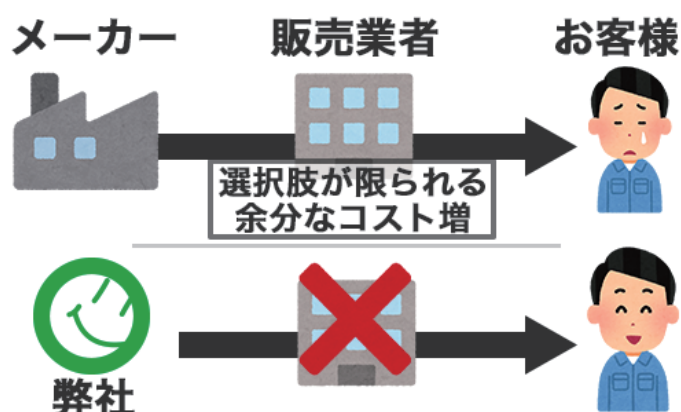
長時間使用した際の発熱も抑えられているため、タイヤ内部に熱が溜まって内部から溶けてしまうなどの**トラブルも防止**できます。



フォークリフトタイヤの買い方を変える方、急増中！ 手間を増やさずにコストを下げる方法とは？

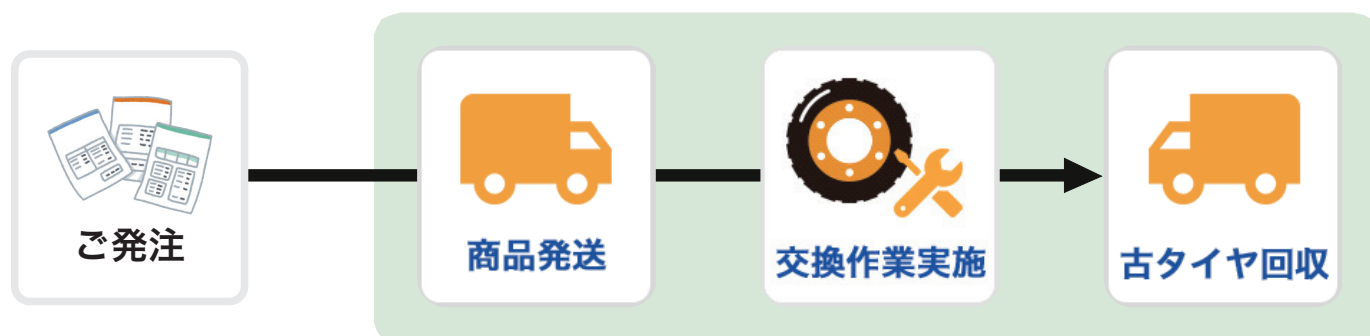
これまではフォークリフトのタイヤを販売業者（ディーラー）で購入、交換依頼されていた方が多くいらっしゃいましたが、

- ・おすすめるタイヤしか選べない
 - ・値上げされても他の選択肢が少ないので、多少値段交渉して従うしかない
- などのデメリットがあります。



そこで弊社フクナガタイヤは、**販売業者を経由しないこと**で**かんたんにコスト削減**できる方法をご提案しております！

タイヤの手配から交換作業、さらに使用済み古タイヤの回収、廃棄まですべてを**弊社が窓口となって対応**いたしますので、手間が増えることはありません。リフトのコスト削減を手間なく進めたい方は、ぜひお気軽にご相談ください。



■ お気軽にご相談ください

弊社は単にフォークリフトのタイヤを販売するだけでなく、購買方法の変更や安全対策用グッズのご提案など、お客様の現場のお困りごとを解決するために全力を尽くしてまいります。

タイヤの交換方法がわからない、どう依頼すればいいか不安という場合も、弊社が窓口となって解決いたしますので、ご安心ください。

株式会社フクナガエンジニアリング

担当：山崎（やまざき）・王（おう）

〒536-0014 大阪府大阪市城東区鳴野西 5-13-30

TEL：06-6969-7655 FAX：06-6962-1613